

七ヶ浜町地域農業推進協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町は宮城県中央部、仙台都市圏の東部に位置し、気候的には四季を通じ温暖な気候に恵まれている。

水田面積は約 119ha あるが、東日本大震災により全体の約 99%にあたる約 114ha に海水、ヘドロ、瓦礫が流入し、水路、揚排水機場等にも壊滅的な被害を受けた。このため水田等の復旧工事を実施し、復旧の進捗に応じて水稲及び大豆の作付けを行ってきた。

ただし、多くの農家が被災し農業用機械を損失したため、戸別に農業を再開することが困難となっていることから、農業経営の集団化及び生産組織の構築や機械導入による省力化等を同時に進める必要がある。

また、排水不良が問題となっている農地については暗渠排水を整備し、湿害対策と排水を強化することが課題となっている。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

主食用米は、農地の復旧に応じて生産数量目標に沿った作付面積を確保する。

(2) 非主食用米

新規需要米及び備蓄米については、主食用米の需要減が見込まれる中、実需者との結び付きを図るとともに、産地交付金を活用し生産推進を図る。

(3) 大豆

主食用米の生産数量目標達成を第一としながら、農地の復旧状況や水利の回復状況に応じて、湿害を回避するための技術と単収及び品質の向上を目的とした新技術を導入して取り組む。また、生産性向上等、低コスト化に取り組むため、団地化及び作業集積に取り組む。

(4) 不作付地の解消

不作付地の現状面積は 7.9ha であるが、食料自給率及び自給力の向上に向けた水田のフル活用への取り組みと農業者の所得確保を図るため、水田の復旧状況に応じて大豆等の作付拡大を推進し不作付地 0ha を目指す。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 27 年度の作付予定面積 (ha)	平成 28 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	52	62	65
飼料用米		9	
米粉用米			
WCS 用稲			
加工用米			10
備蓄米		12	20
麦			
大豆（水田）	18	12.5	20
大豆（畑）			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物			
野菜			

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組番号	対象作物	取組	分類※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 27 年度 (予定)	平成 28 年度 (目標値)
1	大豆	作業集積による生産性の向上	イ	取組面積	18.4	12.5	20

※27 年度の大豆は圃場整備施工のため取組面積が減少する。

※「分類」欄については、要綱（別紙 16）の 2（5）の ア、イ、ウのいずれに該当するか記入して下さい。（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入して下さい。）

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組